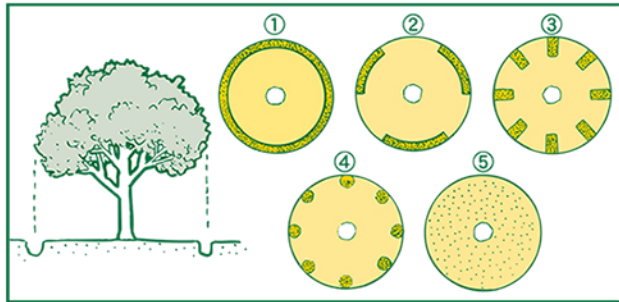


## 肥料の与え方

- 植えるとき…元肥え  
鶏糞や骨粉、油粕、魚粕などの有機質の肥料
- 冬の休眠期間…寒肥え(春の芽吹きが良くなり、新しい枝の生長を助けます)  
鶏糞や骨粉、油粕、魚粕などの有機質の肥料
- 花芽どき…肥料は与えません
- 開花後、収穫後…お礼肥え(開花や結実で衰えた樹の勢いを回復させます)  
速効性のある化成肥料、草木灰

### <追肥の与え方>

- ①輪状施肥  
一般的な方法で、一番長く伸びている枝の下を目安に溝を掘り施肥してください。
- ②車状施肥  
隔年輪状施肥とも呼ばれている1年ごとに溝の位置を替えていく方法です。
- ③放射状施肥  
太い根を傷つけない肥料のやり方で、1年おきに位置を変えます。
- ④壺状施肥  
木と木の間隔が狭い場合に利用する方法です。
- ⑤全面施肥  
木の下全体に与える方法で、浅くすきこみます。



### ■病虫害対策

#### [早期発見]

- 病気がかかった枝や葉はすぐに切り取り、焼却してください。切り口が大きい枝は切り口保護剤を塗っておきましょう。
- ウメ、ザクロ、カキ等は古くなると、樹皮に病原菌や害虫がすみつくことが多いので、ナイフで削り取り、コールドタールや切り口保護剤を塗っておきましょう。
- 冬の間、枝や葉の裏、落ち葉の下などを注意して観察し、さなぎや卵を見つけたらつぶして予防しておいてください。
- 一般家庭の薬剤の散布は、比較的毒性の弱いものを2種類ずつ備えておき、1年ごとに薬剤を変えて散布すると効果的です。水和剤や乳剤は薄めに薄めて、たっぷりとかけます。たとえば1000~1500倍と説明書に書いていたら1500倍です。その代わり、葉の裏や幹、枝などもまんべんなく散布します。時期は雨上がりの曇り日で朝10時頃が最適です。1回だけでなく、2、3日後にもう1回散布しておくほうがいいでしょう。それとは別に春と秋には1、2回ずつづら定期的に散布したほうが効果的です。

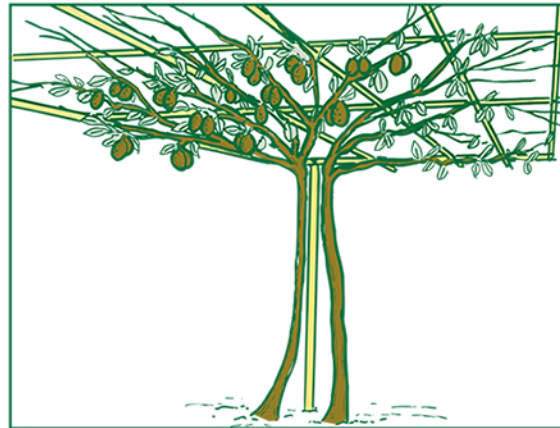
### ■剪定と摘果、袋かけ

(当社ハウツーペーパー No.88「庭木・花木の育て方」、No.90「庭木の剪定」をご覧ください。)

## ここがポイント!

### キウイフルーツの育て方

キウイフルーツは雌雄異株なので、必ず雌木と雄木を植えないと実がなりません。しかし病虫害が少ないので家庭で育てやすい果樹です。つる性なので、棚づくりや生け垣づくりに適しています。肥料は寒肥を与えてください。実は収穫した後リンゴと一緒にしておくと、2~3週間後には食べられるほどに熟してきます。



### サービスのご案内



●下記クレジットカードがご利用できます



☐はギフト券もご利用いただけます



制作発行/株式会社セキチュー 販売促進課  
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

©無断転載は禁止します

# 庭先で育てる果樹

自分でやってみよう!

セキチュー  
HOW TO D.I.Y

86



くだもの屋さんの店先に並んでいるおいしいくだものを、自分で育ててみたいと思いませんか。自分が育てたものは、格別の味がするはず。庭先で育てることができる果樹とその育て方のコツを紹介します。

Do it Yourself & Save



# 庭先で育てることができる果樹とその育て方

## ■庭に適した果樹

ユズ・ミカン・ユスラウメ・ウメ・イチジク・ブドウ・ザクロ・カキ・モモ・クリ・カリン・ブルーベリー・ナシ・サクランボ・リンゴ・スモモ・ビワ・アンズ・フェイジョア・オリーブ・クルミ・キイチゴ・ヤマモモ・キウイフルーツ等

## ■苗木の植え方

苗木は春か秋に植えます。カキやモモ、クリ、キイチゴ、イチジク、カリン等の落葉果樹はやや早めに、芽の動く前に植えましょう。ミカンやユズ、キンカン、ヤマモモ等の常緑果樹はやや遅めに植えつけます。

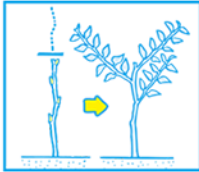
### <植え方>

**1** 根の部分に巻いてあるわらやビニールを取って根を広げ、一晩ほど根の部分を水につけて十分に吸水させておきましょう。



**2** 庭の土は雨で酸性が強くなっているため、植え穴の付近の土に石灰をすきこんで中和させておきましょう。(1坪=3.3㎡当たり20gを10~15cmぐらいの深さに入れて耕します)

**3** 常緑広葉樹の苗木は枝や葉を3分の1ぐらいに切り詰め、落葉樹の場合は幹を3分の1ぐらいに切り詰めて植えると、新しい枝が力強く出てきます。



**4** 根が伸びている苗は20cmぐらいにまで切り詰め、傷んでいる場合は傷んでいない部分まで切り戻します。

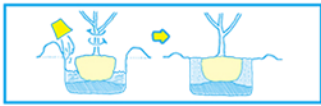
**5** 少し深めの穴を掘り、表層土と芯土に分けておきます。



**6** 穴の底に腐葉土、油粕を入れ、その上に表層土を穴の3分の2ぐらいまで入れます。



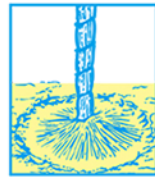
**7** 根に油粕が直接ふれないように、太い根が少し見えるぐらい浅めに苗木を植えて、土を半分ぐらい戻したら水を十分に注ぎ、土を泥状にして木をゆすります。(水ぎめ)



**8** 水が土中にしみこんだら土を表面まで埋め戻し、さらにたっぷり水と水を注ぎ、土を棒でよく突きこんで、根の間まで土が行きわたるようにします(土ぎめ)。植え穴のまわりを少し盛り上げて、さらに水を与えてください。



**9** 秋植えや、乾燥しやすい土壌には表面を敷きわらや枯れ草で植え穴をおおい、風の強い場所では根づくまで支柱を立てて倒れないようにしておきましょう。



## ■人工受粉の方法

花は咲いたのに実をつけない場合は、人工受粉をしてみましょう。実は風や昆虫——特にミツバチなどに他の果樹の花粉をつけてもらってはじめて花から実になりますが、虫がそう多くない町中ではなかなか花粉がつかせませんし、周囲に同じ樹がないと風で花粉も飛んでこないで、結実しないのです。ですからそれを人工的に行ってやれば、実がなるようになります。モモやウメは特に自家の花粉は受けつけないという性質を持っているので、なかなか結実しないので、人工受粉を行いましょ。また結実をよくするためには、肥料分もかなり影響しますので、リン酸とカリを多めに含む肥料を追肥として与えてください。(肥料の袋にN(チッソ)、P(リン酸)、K(カリ)の配合率が表示されていますので、PとKが多いものを選びます)



## ■接ぎ木

狭い場所で種類の違う果実を楽しんだり、幼苗を早く結実させたいときに使う方法です。

●高接ぎ……一本の樹に数品種接ぎ木する方法で場所によってやり方がちがいます。枝先を接ぎかえる「切り接ぎ」(4月) 新梢を接ぎかえる「新梢接ぎ」(6月) 発育のいい新梢で接ぎかえる「芽接ぎ」(8~9月) 「一芽腹接ぎ」(10~2月) 一挙に太い枝を接ぎかえる「はぎ接ぎ」(4月) 元の太枝を残し別の品種の枝を作る「一芽腹接ぎ」(10~4月)

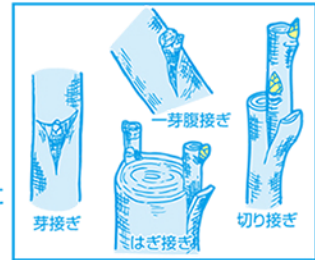
●切り接ぎ 細い枝に接ぐ場合で、4月中旬から下旬に行います。

●はぎ接ぎ 太い枝に数品種接ぐ場合で、4月中旬から下旬に行います。

●一芽腹接ぎ 太い枝の横腹に接ぐ場合で、10月中旬から4月に行います。

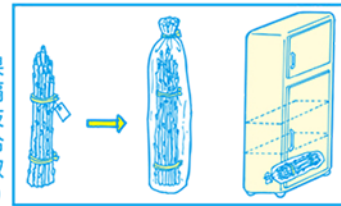
●新梢接ぎ 今年伸びた新しい枝の穂木を、今年伸びた新梢に接ぐ場合で、6月上旬から下旬に行います。

●芽接ぎ 穂木の芽の部分だけを台木の1~2年目の枝に接ぐ場合で、9月下旬から中旬に行います。



### <穂木(接ぐ方)と台木(接かれる方)>

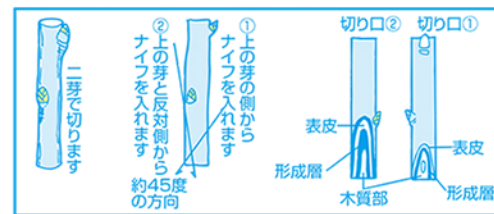
●切り接ぎ・はぎ接ぎ用 落葉果樹(カキ、リンゴ、ナシ)は2月頃、常緑果樹(カンキツ類)では3月下旬に、芽と芽の間隔が詰まって充実した、その前年に新しく伸びた枝を鋭利な刃物で切り取り、ビニールで密封して冷蔵庫で保存します。(穂木についている葉は取り除き、水につけたりしないようにしてください)



●新梢接ぎ・芽接ぎ・一芽腹接ぎ用 接ぎ木の直前に穂木を切り取り、葉をすぐ取って、穂木がしおれないように新聞紙で包んでください。

### <穂木の取り方>

●切り接ぎ、はぎ接ぎ、梢接ぎの穂木



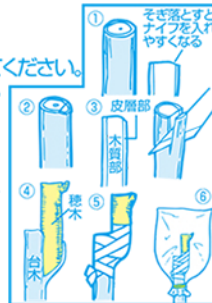
### <はぎ接ぎの仕方>

①樹皮に穂の幅の切りこみを入れます。穂木は切り接ぎと同じです。  
②木質部との境目からナイフの刃先で樹皮をはぎます。  
③穂を差しこみます。  
④切り口をふさぎ、テープで固定してビニールでおおいます。ビニールカポリシートでおおいをします。



### <切り接ぎ・新梢接ぎの仕方>

①接ぐ部分で枝を切ります  
②切り込みを入れる側の肩を落としてください。  
③わずかに木質部がわかる部分をまっすぐに2~3cmぐらい切り下げます。  
④穂木を切り口に差しこみます。  
⑤テープで固定します。  
⑥乾燥を防ぐためにビニール袋でおおいます。穂を挿入するときは形成層のどこかで合っていないと活着しません。



### <一芽腹接ぎの仕方>

A太い枝に接ぐ場合  
①木質部の境目でナイフで切りこみを入れます。  
②ナイフの刃先で樹皮をはぎます。  
③穂木を差しこみます。木工用接着剤かビニールテープでおおって固定します。  
B細い枝に接ぐ場合  
①木質部に1か所ぐらいに切りこみを入れます。  
②穂木を差しこみます。  
③テープで完全におおいます。

